

災害拠点病院（2019年11月現在） 中部

新潟県				
	浸水時搬送計画の有無 「—」浸水域に立地していない	受水槽容量 単位 日分	通常費の発電量 単位 割	優先使用運用順の取り決め
新潟市民	有	3	6	有
糸魚川総合	—	3	6	無
富山県				
黒部市民	無	3	7	有
高岡市民	計画中	3	7	有
市立砺波(となみ)総合	—	3	7	有
石川県				
公立松任石川中央	—	3	8	有
金沢市立	—	3	6	無
珠洲市総合	—	3	7	有
福井県				
福井総合	有	5	5	有
長野県				
伊那中央	—	2	9	無
市立大町総合	—	1	20	無
北信総合	有	3	6	有

岐阜県				
木沢記念	有	3	6	有
静岡県				
富士宮市立	—	1	4	有
市立静岡	—	3	18	無
藤枝市立総合	—	1自治体優先協定有	6	有
磐田市立総合	—	3	6	有
聖隷三方原	—	1	6	有
聖隷浜松	—	1	7	有
愛知県				
名古屋大	—	3	7	無
国、名古屋医療セ	—	2. 2	7	有
JCHO 中京	有	1	5	有
名古屋第一赤十字	—	0. 7	6	有
津島市民	計画中	1	6	有
小牧市民	—	3	7	有
春日井市民	—	2. 5	6	無
愛知医大	—	5	8	無
公立陶生	—	1	6	無
安城更生	—	1	7	有

刈谷豊田総合	—	0.5	6	有
豊橋市民	有	3	6	有
豊川市民	—	1	6	無

読売新聞で災害拠点病院にアンケートを依頼し回答のあった中から各都道府県別162病院の一覧表となったのがこの表です。

742病院が災害拠点病院として都道府県から指定されている。そのうち355病院(48%)から回答があった。

掲載されている病院は災害時の役割分担、運用について、地元市町村との話し合いがあるとした所です。

読売新聞 2020年4月15日 朝刊

新型コロナウイルスの問題で医療崩壊の言葉ばかりを報道で見聞きしていますが、私たちの住む日本は地震も多発します。

これからの季節は大雨、台風にも十分に注意しなければなりません。その災害時に地域医療を守るのが災害拠点病院です。

もし私たちができない理由ばかりを述べて不要不急の外出を繰り返し、3蜜防止を守らなければ病院がコロナ患者で溢れ機能しなくなります。

院内感染になれば病院機能は完全に停止してしまいます。災害時の拠点病院などということは幻想となってしまいます。

4月18日読売オンラインでは「感染症の指定機関、都立墨東病院で新たに11人の感染確認・新規受入原則中止へ」の見出し。

すでに災害拠点病院に影響が出ています。

日本人の美德。人のことを考えましょう。今を生きる私たちは、この国を守らねばなりません。